

明和児童クラブだより

第2号

2022年5月18日発行

(文責) 鷲頭

5月に入っても・・・

新型コロナウイルス感染症ですが、依然として収まる気配はなく、連休明けには、学年閉鎖や学級閉鎖の連絡が学校から入ってきています。また、明和児童クラブでも児童や保護者の感染の報告はありましたが、しばらくお休みしていた児童でしたので、児童クラブ内には、濃厚接触者は無しという判断になりました。

今後も、気を緩めることなく、感染防止対策に取り組んでいきます。



【児童制作のこいのぼり】

誕生日会を始めました。



今年度から、誕生日会を始めました。お互いのことを思いやれる子どもたちになってほしいという願いから考えたものです。4月は、25日(月)に、4月生まれの5人の児童に、簡単な手紙や絵を渡したり歌を歌ったりしてお祝いしました。これからも、一人一人の友達に注目する機会の一つになっていけばいいと思います。

「一輪車」にチャレンジできるように

児童がチャレンジできるように、一輪車を6台購入しました。また、スターター(掴まる手すりのような物)も用意しました。一輪車は、バランス感覚を養うのにいい遊具です。最初はあまり無理をせずに、少しずつ慣れてくれればいいのかと考えています。練習場所は、地面が柔らかい草の所に限るなど、児童には今後、安全な利用方法を指導して、けがの防止に努めながら利用を呼びかけていきます。



「明和児童クラブ」のキャラクターは・・・

すでに、様々な文書で目にはしていることとは思いますが、昨年度から、明和児童クラブオリジナルの右のようなキャラクターを作成して、使用しています。

キャラクターの名前は、職員が知恵を絞って考えました。男の子は「明和」の「明」から「あきらくん」と命名しました。陰日向なく明るい子に、周囲を明るくする子にといった願いが込められています。また、女の子は、「明和」の「和」から「なごみさん」と命名しました。心おだやかな子に、周囲を和ませる子にといった願いが込められています。



連絡

- ①「6月の利用予定表」を本日配付しました。5月26日(木)までに提出をお願いします。
- ②出欠席のメールの受付は、新しいアドレスのみになっています。「利用予定表」や「令和4年度案内」(冊子)でご確認ください。
- ③6月～7月には、夏休みの利用案内や、来年度に向けての意向調査を予定していますので、よろしくお願いします。

令和4年度の明和児童クラブの運営方針を下記のとおり策定しました。平方学園の方針として、他の学童にはない明和児童クラブの特色をできる限り創出していく方向での「運営方針」になっています。

令和4年度 明和児童クラブ運営方針

1 基本方針

- (1) 「平方学園の教育（改訂版Ⅱ）」「第三次教育計画」に基づく教育・保育活動を推進する。
- (2) 円滑な運営や質の高い教育・保育を支えるために、保育室などの環境整備を充実させる。
- (3) 職員の協働により、特色ある運営及び教育・保育を創出する。

2 環境整備の充実

- ① 備品や遊具、教材教具などを充実させる。
- ② 支援員や補助員の安定的な確保に努めるとともに、職員の資質向上に取り組む。
- ③ 安定的な運営に向けての児童数に係る検討を行う。

3 特色ある運営及び教育・保育の創出

- (1) 親子に寄り添った運営及び教育・保育の推進
 - ① ホームページや通信物等を通して情報発信を積極的に行うとともに、日常的な情報交換を充実させながら、保護者との信頼関係を構築する。
 - ② 児童の言動や態度等について、職員で日常的に情報交換を行うとともに、保護者との個別相談、児童との個別指導・相談を積極的に実施する。
 - ③ 長期会員制度や臨時利用制度等を活用するなどして、親子の様々な状況に即し、また、個に応じた保育要望への対応に取り組む。
 - ④ 体育教室、ピアノ教室、ECCなどに希望者が通えるように、各運営者と連携を図る。
- (2) 教育的機能を備えた運営と教育・保育の質の維持・向上
 - ① 宿題や生活への支援を充実させ、学習習慣や基本的生活習慣の定着を図る。
 - ② 積極的な生徒指導を実施し、人間関係づくりへの支援を行う。
 - ③ 社会性や人間性の伸長を図れるように、異年齢・異学年間の交流を工夫する。
 - ④ 長期休業中には、保護者に負担をかけずに、児童の可能性を引き出したり伸ばしたりできるような様々な催しを開催する。

4 特色を創出するための前提となる運営の充実

- (1) 児童の安全確保を最優先した運営の徹底
 - ① 送迎時や屋内外での教育・保育時における安全を最優先するとともに、避難訓練を定期的を実施する。また、新型コロナウイルス等の感染症予防に万全を期す。
- (2) 明和幼稚園や各小学校、市などと連携した運営の充実
 - ① 幼稚園との間の報告・連絡・相談を密にし、相互に信頼感のある運営を推進するとともに、児童と幼稚園児との交流についても検討する。
 - ② 各小学校や子育て施設課とも連携を密に取り合い、運営の充実に取り組む。